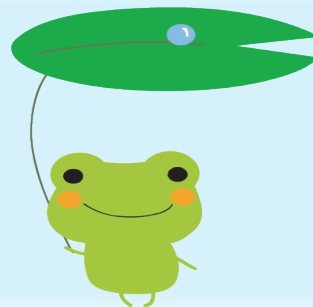




看護部 27年度目標

平成27年度も2ヶ月が過ぎようとしています。例年になく患者数が多く相変わらず慌ただしい日々を過ごす中でも、笑顔で患者さんに接していただいていることに心から感謝致します。

今年度は経営企画室からの提案である”地域に選ばれるベストホスピタル”をめざし、戦略として「地域完結型・高度急性期機能・地域医療機関と共に」をキーワードに取り組むことになりました。看護部のテーマは「信頼され、感動を分かち合える看護」で自身の基本的看護力を見直し専門性を高めることを目標にしています。皆さんは、一瞬一瞬に看護判断をしています、フィジカルアセスメントに加え社会的・精神的・スピリチュアルな視点で判断が求められており、責任と義務を果たす役割があります。今年度10月より医療事故調査制度が施行され、医療事故について報告を求められます。根拠のある観察やケアを実施し、その意味を記録から伝えられることが益々重要となります。それぞれの専門性を高め、より確かな判断力を持ちましょう。PNSの暗黙知の伝承や連携・ペアの力がその為に活かされることにも期待したいと思います。PNSは今年度更にマインドやタイムマネジメント等理解を深め、超過勤務の減少等結果を出せるよう皆さん自身が作り上げて欲しいと願っています。

また、院長先生の言葉にもありました、患者さんに選ばれる病院であり続ける為に、一人一人が思いやり、相手の尊厳を守れる対応がいつでもどこでもできるような組織を目指したいと思います。

出会いを大切に、自ら選んだこの仕事を誇りにして成長していきましょう。

看護部長 緒方くみ子

業務委員会

「患者・家族・医療チームメンバーに見える看護の提供」を委員会の目標としました。

H25年度よりPNSを徐々に導入し、H26年度は全部署導入しました。導入後のさまざまな課題も見えてきたため、業務委員会各部会、師長会、副師長会と協力しながら、検討していく予定です。各部会の年度目標は以下のようになっております。

情報管理部会

「患者・看護が見える看護記録の実践～基本に立ち返り看護記録の質改善に取り組もう～」

業務検討部会

「パートナーとともに受け持ち看護師としての役割を遂行し、質の高い看護が提供できる」

基準・手順検討部会

「マニュアル統一と活用で、患者に安心・安全な看護を提供する。」

教育委員会

目標「自主性・自律性の向上を図り、キャリアデザインを描ける」

今年度ナースングサポートeラーニング研修の導入：基本的看護技術・知識・態度を身につける

【導入理由】

ラダー研修及び院内の集合研修対象者が増加し、1回の研修での全員出席が困難になってきています。オンデマンド配信により、個人で自宅のインターネット・パソコン、携帯電話のスマートホンなどで自由にいつでもどこでも繰り返し学べる環境にあります。そのため、時短勤務者や非常勤者も学べます。研修内容が豊富であり著名な講師人による最新情報を学べます。また、1回の研修時間が30～60分間の講義、研修への自主的な取り組み姿勢が評価でき、研修後のテストの実施で理解度が確認できます。積極的に自己研鑽し自分の目指す専門性を高める機会をつくってほしいと考えます。更に、認定看護師による専門研修の充実や学会・院外研修への参加推進をしていきます。

各部署目標

外来病棟

外来目標は、ホスピタリティを意識し「オアシス」としました。
オはおもてなし アは安心
シは信頼 スはスマイル
ホスピタリティとは、「思いやり」「心からのおもてなし」という意味です。
「マナー」は相手に不快感を与えないための最低限のルールです。
マナーに「心」が加わると、「ホスピタリティ」になります。外来は前年度まで「接遇・マナー」向上に意識してきましたが、今年度は現時点より高い目標として「ホスピタリティ」の浸透と計画を掲げました。
信頼、安心感そして感動が生まれる外来を目指したいと考えます。

3西病棟

目標「看護師一人一人が専門性を高め、
安心・安全な看護の提供」
平成26年10月病棟編成に伴い、3階西病棟は整形外科を主とした19床になりました。毎月約50名の新規入院患者さんと出会い、その中で年間300件以上の手術加療が行われています。患者さん方が望む治療が受けられ、希望する方向へ向けてサポートしていけるよう、この目標を念頭に置き取り組んでいきたいと思ひます。3階西病棟での入院生活は短期間になりますが患者さん一人一人との出会いを大切に、心のこもった看護を実施していきたいと思ひます。

包括ケア病棟

目標「地域に信頼される病棟づくり」
～地域一の看護連携を目指そう～
地域包括ケア病棟は昨年10月に設立されたばかりのシステムです。
疾病を抱えながらも住み慣れた場所で自分らしい生活を続けられるよう、地域における医療・介護の関係機関が連携して患者さんをサポートする「地域包括ケアシステム」の一部です。
始まった当初は右も左も分からず、何をすべきか迷う事ばかりでした。しかし、患者さんの在宅復帰をお手伝いする中で、患者は生活者であり入院生活は人生の中のごく一部にすぎないことに改めて気付きました。在宅療養支援者との連携は必須であると思ひます。今年度看護連携の充実を図れるよう取り組んでいきます。

新人看護師の紹介 12名

H27年度は12名の看護師がローテーション研修に参加しています。今年からローテーション期間を1タームに短縮しました。また、今年度は外来・手術室・回復リハビリ病棟も期間中にローテーションします。新人看護師もプリセプター、スタッフも緊張と不安の中で日々研修、教育指導にあたっていると思ひます。パートナーシップ・ナーシング・システムのいいところを活かし、8月までのローテーション研修を乗り切ってほしいです。

教育担当師長 小牧

手術室

目標「責任と思いやりの心を持ち、
こころに寄りそう看護を提供する」

手術室ではこれまで看護の質の向上に向けて様々な取り組みをしてきました。昨年度は手術を待つ家族へのアンケートを実施し、多くの家族が疑問や不安がなく、または疑問があっても看護師に質問し解決しながら手術を迎えることができていたことがわかりました。これからも外来・病棟と協力しながらまだまだ私たちにできる看護があるのではないかとこの気持ちで取り組んでいきたいと思ひます。



4東病棟

目標「安全・安心・信頼のおける看護を
提供できる～パートナーシップの発揮～」
A(ピンク)チーム目標は「マニュアル遵守して受け持ち看護師としての役割を果たす」
B(イエロー)チーム目標は「入院から患者・家族の思いを聞き、記録に残せる～看護計画の充実～」です。
HCUを有する当病棟においては、専門性の高い看護師の育成が必須であり、より正確で安全な看護の提供が望まれます。また慢性期、終末期までの幅広い看護を提供していく為にも、看護の本質である「知識・技術・態度」を念頭において取り組んでいきたいと思ひます。

回復リハビリ病棟

目標「チーム力を集結し、患者・家族の思いを達成させよう!!」
～基礎力を活用した退院支援の実践～
PNS・退院支援を積極的に実践し始め3年目となり、パートナーシップを活用したチーム活動や多職種連携による退院支援等充実してきました。その集大成となる1年と考え、看護職の基礎力を見直し、更なる向上に繋げ精度を高める時と考えます。
アセスメントシート・4分割法・ICFシート・TMシート等と看護計画の連動を図り、看護職種間・多職種間のコミュニケーションを活用しながら、退院後の生活イメージを持ち患者の持つ機能を高め自律した生活が送れるよう看護実践していきます。

3東病棟

目標「責任と自覚をもった看護の実践
～基本に戻ろう 凡事徹底～」

昨年度と同じ目標とし、対策を具体化して再度取り組む事としました。
①「患者が見える記録」を目指して看護記録の充実を図る
②「看護基準に沿った知識・技術の習得」を目指して学習する
の2つのグループで活動し、病棟目標の達成を目指していきます。

4西病棟

目標【お互いを信頼し合い、
患者の為に行動することができる】
①「専門性を高め、質の高い看護が提供できる」
②「早期に患者にあった退院支援ができる」をサブテーマに取り組んでいきたいと思ひています。
昨年から「PNS」を本格的に運用開始しましたが、課題も見えたため今年度はグループ活動に取り入れて、「マインドシッポの強化」に努めていきたいと思ひています。また看護必要度についても正確な評価・記録が不十分であり、グループ活動で記録の精度が上がるように取り組んでいきます。グループ活動を通し昨年よりさらに自己の成長につなげられるように頑張っていきたいと思ひます。



坂口 あいり

高校卒業後、島根県と山口県の看護学校で学び、5年振りに地元・鹿児島へ帰ってきました。いよいよ新社会人となり、4月からローテーション研修をさせて頂いています。毎日が緊張と不安でいっぱいですが、日々の学びを大切に看護師としても人としても成長していきたいです。趣味は映画観賞で、よく見るのは洋画です。地元に戻ってきたので、休日は色んなところへ出掛けて鹿児島を満喫したいと思います。人見知りの性格で、なかなか自分から話しかけることが出来ませんが、色んな方とお話をして仲良くさせて頂きたいと思っています。よろしくお願いします。



石原 未希

皆さん、こんにちは。私は、野田女子高校で5年間学びこの病院に就職しました。研修中、毎日自分の無力さを痛感しています。趣味はお菓子作り、特技はフルート演奏です。運動はとても苦手です。その為、自己表現とテキパキした行動が得意とは言えません。ですが、1つ1つ仕事を覚え自分に自信をつけ、患者が必要としている看護を笑顔で提供できるよう努力していきますのでよろしくお願いします。

西原 綾乃

4月から新人看護師としてお世話になっています。初めて病院に勤務し、まだまだ分からない事ばかりですが、ローテーションでは様々な事を学ぶ事ができ、大変ではありますが充実した日々を過ごしています。初めての事ばかりで迷惑をかけることが多いですが、ご指導ご助言よろしくお願いします。

原田 広輝

出身は屋久島で、川内にきて5年目になります。働きながら学校に通い4月から看護師免許を頂きやっとスタートラインに立つことができました。今後先輩達の話している会話についていけるように一生懸命勉強し頑張りたいです。趣味は病院の職員の方々と一緒に行っているソフトボールです。他職種との交流を図りながら楽しみたいと思います。ご迷惑をお掛けすると思いますがよろしくお願いします。

原口 茉也

4月から看護師として働かせていただくことになりました。緊張でいっぱいですが、ご指導・ご助言をして頂きながら看護師として働くことができ、初めての技術や新しいことを覚えていく事にやりがいを感じる毎日です。早くたくさんのご迷惑をお掛けすると思いますが、立派な看護師として働くことが出来るように努力していきますので、ご指導・ご助言の方よろしくお願いします。

杉園 大介

四月より看護師としてお世話になっています。急性期の病院勤務は初めてで戸惑うことの連続ですが、同時に学べることもたくさんあり充実した毎日をおくれています。慣れないこともあり、いろいろと迷惑かけることも多いと思いますが、ご指導宜しくお願いします。今年で36歳になります。これといった特技はないですが、若い時はバスケットボールが好きでやっていました。趣味は釣りです。

上拾石 祐紀

准看護師として3年、学校へ通いながら働かせて頂きようやく夢であった看護師になることができました。入職して約2か月、わからない事ばかりで、不安も多くなかなか緊張が取れないですが、各部署のローテーション研修を通して一つでも多くの事を学び成長できるよう頑張りたいと思います。宜しくお願いします。



原口 夏希

今年の4月から新人看護師としての生活がスタートしました。ローテーションでは各病棟の特色、主要疾患の看護を学び、少しでも自分のものにできるように頑張っていきたいです。分からないことも多く皆さんに多くの迷惑をかけるかもしれませんが、よろしくお願いします。

宇都 裕未

4月から看護師として勤務しています。慣れない環境で戸惑うことばかりですが一生懸命頑張ります。各部署でのローテーション研修で成長していきたい、一人前の看護師になりたいと思います。趣味は旅行、ソフトボール、山登り、ゴルフです。これからもいろいろなスポーツにチャレンジしていきたいです。ご迷惑をおかけしますが、これからよろしくお願いします。

東 さおり

初めての病棟勤務で、患者様の頑張っている姿、ケア後の笑顔、ありがとうの言葉、そして患者様から「新人看護師がんばれ」の声を聴くことが出来ました。患者様と触れ合うことで色んな事を教えられ、それだけに自分をもっと、もっと知識や技術の向上に努めていこうと思います。いつも笑顔で患者さんと触れ合える看護師でいたいです。先日の連休時、家を離れた2人の子供たちが久しぶりに帰省し家族で食卓を囲みました。「お母さんご飯は美味しい、ご飯が出てくるのは幸せだ」と言う子供達から喜ばれ幸せを感じました。さらに料理の腕を磨こうと思います。

下中村 恵

准看護師として3年間、川内看護専門学校へ通いながら働かせて頂き、今年4月に無事に看護師免許を取得することができ、4月より改めて新人看護師として働かせて頂きます。看護師としてはまだまだ未熟であり、ローテーション研修では先輩方にご迷惑をおかけすると思いますが、常に初心の気持ちを忘れず、ご指導頂いたことは素直に受け止め、多くの事を吸収し、看護師として成長していきたいです。



田代 清恵

抱負は一日でも早く看護師という仕事に慣れ知識と技術をしっかりと身につけていくことです。まだまだ知識も技術も未熟な部分が多いですが患者さんが安心・安全に医療を受けることができるように看護師として成長していけるよう努力していきたいです。趣味は映画観賞と旅行です。映画は特に洋画を好んで観ます。ジャンル問わず洋画であれば何でも好きです。時間とお金があれば友人と旅行に行くのが楽しみです。特技は英会話です。



院外研修報告

看護管理者研修～ナラティブアプローチ～に参加して

看護部 松若 元子

医療の中で患者さんの人生の物語にどのように関わり、そして看護師としてどのような物語を生きようとしているのか考える機会となりました。

物語としてのケアは、「無知の姿勢」という高度の専門性であり、患者さんの人生の物語に立ち会いその証人となる、技法ではなく分かった気にならない、少しでも分かりたいという物語を聴く姿勢、態度人格が大切であるとのことでした。そして、語る一聴くという関係が新しいナラティブを生みだし患者さんが「病を生きる」と同様に、治療者も「治療の物語」を生きているという事が印象的でした。病気と向き合う患者さんと家族に寄り添い多くのスタッフと考え悩み、時に治療の成果を共に喜んだり、気持ちが辛くなったり、2つの物語が交錯していることを実感させられました。

今、ここに看護師として生き、出会いや別れ、思い出も多くあります。そして私自身の人生の物語となっています。今看護師として働かせていただいていることに感謝していきたいと思います。

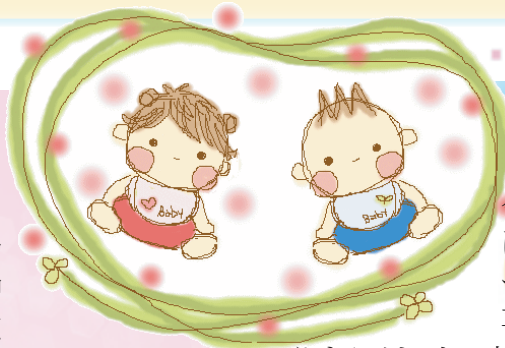
ミニナラティブ

～患者としての経験を基に～

私は、双子の出産後、突然、視力を失い明るさすらもわからない中生活の全てに介助が必要になりました。発症後まもなく絶対安静となり、清拭はもちろんのこと、陰部洗浄、そしてベッド便器での排泄となりました。もちろんそれまで患者さんに便器での排泄を介助したことはありませんでした、当然床上排泄の羞恥心は分かっているつもりでしたが、いざ自分がそうになると、出ないし、とにかく恥ずかしい。その後ポータブルトイレでの排泄。処理を頼むのがこれまた恥ずかしい。一人でトイレ排泄ができた時は、ほっとし、本当に幸せだと感じました。

また、なにより一番困ったことはナースコールです。看護師の私は「今は送り中だからやめよう」「昼休憩だからやめよう」「隣の部屋で急変があったみたいだからやめよう」などなど押すタイミングに困りました。でも押さないわけにはいかず、勇気を出してボタンを押します。「ナースコールをおす」たったこれだけの行動にこんなに患者さんに気を遣わせていた事に気が付きました。視力が回復するまでの数日間でしたが、私にとっては辛くも貴重な経験でした。今、この経験をもとに、患者さんがナースコールを押さずに済むよう気配りをし、また、患者さんとの関わりの中で、患者さんの努力を認め、共感し、労いの言葉をかけられるよう日々取り組んでいます。

回復リハビリ科棟 竹下由美子



マイブーム

今は育児に追われて趣味らしいことは出来ず、日々過ごしていますが、やはり子供たちの成長は少なからず喜びを感じます。

- ・うちには4人の怪獣が控えています、上から小2(女)、5歳(男)、2歳(男&女)になります。中でも成長を感じるのは、2歳の双子です。1人でも大変な時期である2歳児が2人もいるわけでした・・・！！
- ・双子ならシンクロすると思われる方も多いと思いますが、うちの双子は本当に双子なのかと思うくらい顔も、性格も似ていません。歩くと行き先は別々ですし、遊びも男の子は鉄砲玉のようにひたすら走り回り、女の子は石集めや、おままごとに夢中です。おしゃべりも女の子の方は会話が成立しますが男の子はほとんど宇宙語でようやく単語が出てきたくらいです。そんな2人が顔を合わせ会話をしていたり、一緒に手をつないだりしているのを目にすると双子でよかったと思えます。最近では、上の2人も双子のお世話を甲斐甲斐しくしている光景もあり姉妹兄弟で成長を感じるひとコマです。
- ・まだまだ先はこれから長いですが、明るい未来が待っていることを信じてこれからも4人の成長ぶりを見守っていききたいと思います。

手術室 車道ひとみ

編集後記

- ＊ 新年度が始まり、約2ヶ月余りが過ぎ新入職者の方々も白衣姿が馴染んできたのではないのでしょうか。
- ＊ 私服から白衣に着替え、身だしなみを整えることは安心感や信頼感を与え、誠実さが伝わります。また
- ＊ 感染・安全・衛生対策をしっかり行っていることを示す、統一感がありプロ意識が高いと思われます。
- ＊ おしゃれと身だしなみは違いますが、皆さんの身だしなみはいかがでしょうか？白衣姿に合った髪型や色、靴などは適切でしょうか。合わせて患者様・家族への接遇マナーにも高い意識を持って対応に心がけていきましょう。

(小牧)

